

足立区の景況

これは、令和7年12月上旬～令和8年1月中旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先3ヶ月間（令和8年1月～3月）の予想をまとめたものです。

調査対象 製造業 127社 小売業 63社
建設業 70社 サービス業 55社
運輸業 40社
調査方法 面接聴取、郵送アンケート（運輸業）
調査機関 一般社団法人 東京都信用金庫協会
分析・作成 株式会社 東京商工リサーチ

	好調 ←			普通	→ 不調			
製造業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31以下	
小売業	10以上	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31~-40	-41以下	
建設業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31以下	
サービス業	15以上	14~5	4~5	-6~-15	-16~-25	-26~-35	-36以下	
運輸業	15以上	14~5	4~5	-6~-15	-16~-25	-26~-35	-36以下	

製造業

景況 業況は1ポイント減の-10と前期同様の厳しさが続いた。売上額は増減なく-7、収益は増減なく-12とともに前期並の減少・減益幅で推移した。価格動向は、販売価格は2ポイント増の25と上昇が若干強まり、原材料価格は6ポイント増の48と上昇幅が大きく拡大した。

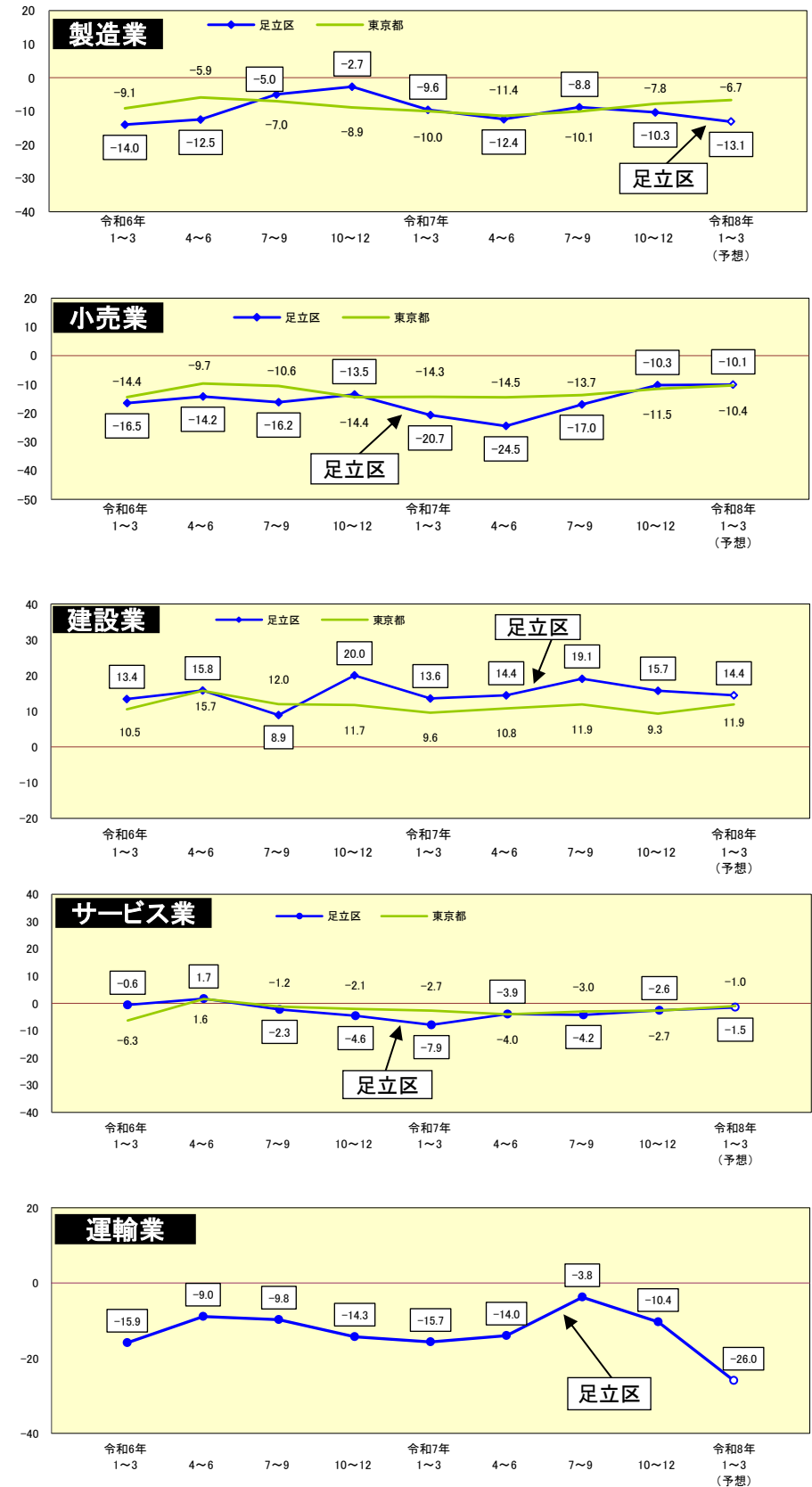
小売業 業況は7ポイント増の-10と悪化幅がかなり縮小した。売上額は1ポイント減の-6と前期並の減少が続き、収益は6ポイント減の-18と減益幅が大幅に拡大した。価格動向は、販売価格は3ポイント増の31と上昇がやや強まり、仕入価格は1ポイント減の46と前期並の上昇が続き、在庫は1ポイント増の1と適性水準に保たれた。

建設業 業況は3ポイント減の16と好調感が多少後退した。売上額は7ポイント減の12とかなり後退し、収益は2ポイント増の4と増加幅がわずかに拡大した。価格動向は、請負価格は3ポイント減の25と上昇が幾分弱まり、材料価格は1ポイント減の45と前期並の上昇が続いた。在庫は増減なく3と前期同様の過剰感が続いた。

サービス業 業況は1ポイント増の-3と前期同様の厳しさが続いた。売上額は8ポイント増の11と増加幅が大きく拡大し、収益は5ポイント増の3と増加に転じた。価格動向は、料金価格は4ポイント増の13、材料価格は4ポイント増の27とともに上昇がやや強まった。

運輸業 業況は6ポイント減の-10と低調感が大幅に強まった。売上額は1ポイント減の1と前期同様の水準で推移し、収益は1ポイント減の-9と前期並の減少が続いた。価格動向は、サービス提供価格は2ポイント減の3と上昇が若干弱まり、仕入価格は16ポイント減の31と上昇がかなり弱まった。

足立区と全都の業況の動き(実績)と来期の予測



足立区 業種別 経営上の問題点

順位	業種	問題点	割合
製造業	第1位	原材料高	45.7%
	第2位	売上の停滞・減少	28.3%
	第3位	同業者間の競争の激化	25.2%
	第4位	人手不足	22.8%
	第5位	仕入先からの値上げ要請	16.5%
小売業	第1位	同業者間の競争の激化	27.0%
	第2位	売上の停滞・減少	23.8%
	第3位	仕入先からの値上げ要請	22.2%
	第4位	人件費の増加	17.5%
	第5位	人手不足	15.9%
建設業	第1位	材料価格の上昇	58.6%
	第2位	人手不足	40.0%
	第3位	同業者間の競争の激化	21.4%
	第4位	売上の停滞・減少	18.6%
	第5位	人件費の増加	17.1%
サービス業	第1位	同業者間の競争の激化	40.0%
	第2位	人手不足	36.4%
	第3位	人件費の増加	27.3%
	第4位	売上の停滞・減少	16.4%
	第5位	利幅の縮小	12.7%
運輸業	第1位	人手不足	56.5%
	第2位	仕入価格の上昇	39.1%
	第3位	人件費の増加	30.4%
	第4位	売上の停滞・減少	26.1%
	第5位	車両の老朽化	17.4%

足立区 業種別 重点経営施策

順位	業種	施策	割合
製造業	第1位	販路を広げる	52.0%
	第2位	経費を節減する	50.4%
	第3位	人材を確保する	19.7%
	第4位	情報力を強化する	15.7%
	第5位	新製品・技術を開発する	11.0%
小売業	第1位	経費を節減する	49.2%
	第2位	宣伝・広告を強化する	33.3%
	第3位	品揃えを改善する	28.6%
	第4位	売れ筋商品を取り扱う	14.3%
	第5位	店舗・設備を改装する	11.1%
建設業	第1位	人材を確保する	50.0%
	第2位	経費を節減する	45.7%
	第3位	販路を広げる	28.6%
	第4位	技術力を高める	27.1%
	第5位	情報力を強化する	24.3%
サービス業	第1位	経費を節減する	52.7%
	第2位	人材を確保する	41.8%
	第3位	販路を広げる	30.9%
	第4位	宣伝・広告を強化する	16.4%
	第5位	教育訓練を強化する	10.9%
運輸業	第1位	人材を確保する	66.7%
	第2位	経費を節減する	41.7%
	第3位	車両を新規導入・修繕する	20.8%
	第4位	労働条件を改善する	12.5%
	第5位	提携先を見つける	8.3%

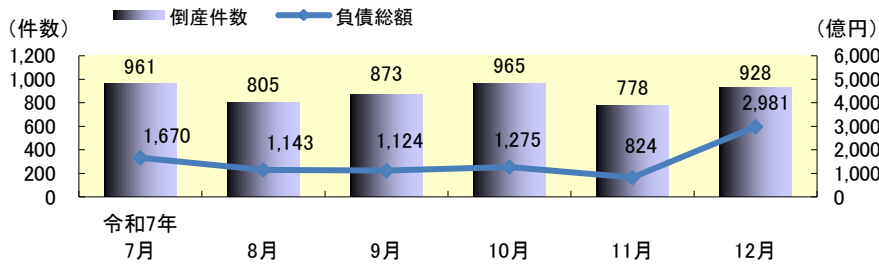
注) サービス業は平成22年1~3月期からデータの継続性を重視するため、一般社団法人東京都信用金庫協会が調査したデータを使用しています。
 ※運輸業のDI値について 令和6年度より、令和4年度以降の運輸業のDI値として修正値を参照しています。
 ※来期予測について 今後の見通しについては、社会情勢等の影響により実態と差異が生じる可能性があります。

全国、東京都、足立区の企業倒産動向（令和7年10～12月期）

【(株)東京商工リサーチ調べ】

1. 全国の倒産動向

(1) 概況：直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



全国の倒産動向は、今期（令和7年10～12月）は件数では2,671件と前期（令和7年7～9月）より32件増加し、負債総額では5,080億円と1,143億円増加した。

(2) 大型倒産

- ① (株) ドローンネット/東京都/ドローン関連事業ほか/144,500百万円/破産
- ② 中川企画建設(株)/大阪府/土木建築工事ほか/22,222百万円/会社更生法
- ③ (株) サラ/岡山県/施設野菜生産/15,767百万円/民事再生法

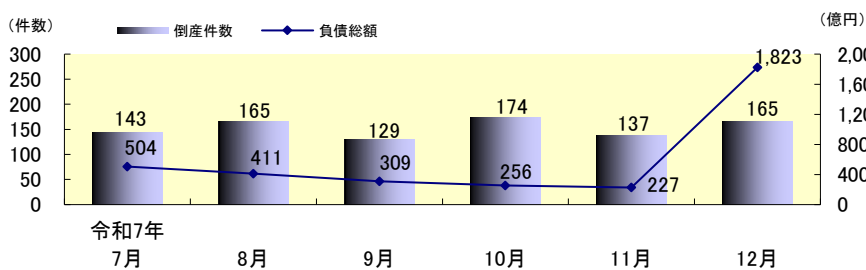
2. 東京都の倒産動向

(1) 概況

	前年同期 令和6年 10～12月	前期 令和7年 7～9月	今期 令和7年 10～12月	前期比 (増加率)	前年同期比 (増加率)
件数	439	437	476	8.9%	8.4%
負債総額(億円)	2,885	1,223	2,306	88.6%	-20.1%

※負債総額について、「億円」単位以下を四捨五入しているため、表とグラフで誤差がございます。

(2) 直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



東京都の企業倒産は、476件（前期比8.9%増）と前期から増加した。

業種別にみると、製造業、小売業、サービス業、不動産業、情報通信業・運輸業、宿泊業、飲食サービス業、その他の業種で倒産件数が増加している。

負債総額は2,306億円（同88.6%増）と増加し、業種別にみると、卸売業が最多であった。

(3) 原因別の倒産動向

	前年同期 令和6年10～12月		前期 令和7年7～9月		今期 令和7年10～12月			
	件数	負債総額 (億円)	件数	負債総額 (億円)	件数	負債総額 (億円)	件数前月比 (増加率)	件数前年同期比 (増加率)
放漫経営	51	1,817	48	384	46	1,544	-4.2%	-9.8%
過小資本	8	33	3	5	5	105	66.7%	-37.5%
他社倒産の余波	21	302	32	51	30	22	-6.3%	42.9%
既往のシワ寄せ	53	312	53	262	64	211	20.8%	20.8%
販売不振	291	285	283	423	304	361	7.4%	4.5%
売掛金等回収難	2	20	6	16	4	17	-33.3%	100.0%
信用性低下	5	12	2	74	0	0	-100.0%	-100.0%
在庫状態悪化	0	0	0	0	0	0	-	-
設備投資過大	1	0	0	0	0	0	-	-100.0%
その他	7	100	10	5	23	43	130.0%	228.6%
合計	439	2,885	437	1,223	476	2,306	8.9%	8.4%

(4) 業種別の倒産動向

	前年同期 令和6年10～12月		前期 令和7年7～9月		今期 令和7年10～12月			
	件数	負債総額 (億円)	件数	負債総額 (億円)	件数	負債総額 (億円)	件数前月比 (増加率)	件数前年同期比 (増加率)
製造業	26	31	22	176	29	82	31.8%	11.5%
卸売業	68	183	73	215	64	1,663	-12.3%	-5.9%
小売業	51	883	49	71	53	50	8.2%	3.9%
サービス業	109	362	103	390	125	94	21.4%	14.7%
建設業	42	30	59	54	45	140	-23.7%	7.1%
不動産業	15	75	23	129	25	66	8.7%	66.7%
情報通信業・運輸業	61	79	58	158	71	91	22.4%	16.4%
宿泊業・飲食サービス業	36	56	32	15	40	34	25.0%	11.1%
その他	31	1,182	18	12	24	82	33.3%	-22.6%
合計	439	2,885	437	1,223	476	2,306	8.9%	8.4%

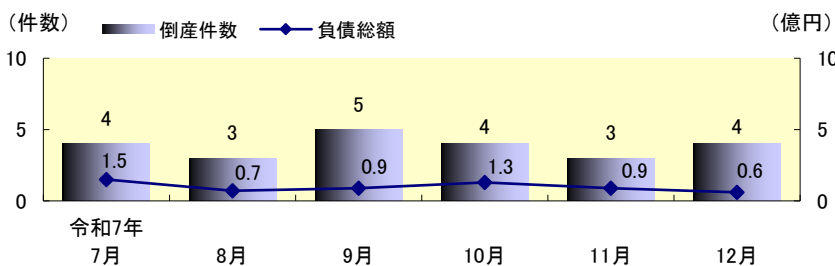
3. 足立区の倒産動向

(1) 概況

	前年同期 令和6年 10～12月	前期 令和7年 7～9月	今期 令和7年 10～12月	前期比 (増加率)	前年同期比 (増加率)
件数	15	12	11	-8.3%	-26.7%
負債総額(百万円)	1,114	324	300	-7.4%	-73.1%

※負債総額について、表は「百万円」単位、グラフは「億円」単位以下を四捨五入しているため、合算値に誤差がございます。

(2) 直近6ヶ月の倒産件数と負債総額の推移



足立区の倒産動向は、件数は11件（前期比8.3%減）と前期から減少した。負債総額は3億円と前期比約2,400万円減少した。

業種別にみると、サービス業で4件、建設業で3件、製造業、小売業、不動産業、宿泊業、飲食サービス業で1件ずつ倒産しており、最多負債総額は建設業の9,300万円であった。

(3) 原因別の倒産動向

	前年同期 令和6年10～12月		前期 令和7年7～9月		今期 令和7年10～12月			
	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数前月比 (増加率)	件数前年同期比 (増加率)
放漫経営	1	10	2	70	1	10	-50.0%	0.0%
過小資本	0	0	0	0	0	0	-	-
他社倒産の余波	1	30	0	0	0	0	-100.0%	-100.0%
既往のシワ寄せ	2	372	1	45	1	28	0.0%	-50.0%
販売不振	11	702	9	209	8	189	-11.1%	-27.3%
売掛金等回収難	0	0	0	0	0	0	-	-
信用性低下	0	0	0	0	0	0	-	-
在庫状態悪化	0	0	0	0	0	0	-	-
設備投資過大	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	0	0	0	0	1	73	-	-
合計	15	1,114	12	324	11	300	-8.3%	-26.7%

(4) 業種別の倒産動向

	前年同期 令和6年10～12月		前期 令和7年7～9月		今期 令和7年10～12月			
	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数前月比 (増加率)	件数前年同期比 (増加率)
製造業	0	0	1	75	1	50	0.0%	-
卸売業	4	242	1	10	0	0	-100.0%	-100.0%
小売業	3	240	3	35	1	10	-66.7%	-66.7%
サービス業	0	0	1	10	4	69	300.0%	-
建設業	4	562	3	91	3	93	0.0%	-25.0%
不動産業	0	0	1	20	1	28	0.0%	-
情報通信業・運輸業	2	30	0	0	0	0	-	-100.0%
宿泊業・飲食サービス業	0	0	1	23	1	50	0.0%	-
その他	2	40	1	60	0	0	-100.0%	-100.0%
合計	15	1,114	12	324	11	300	-8.3%	-26.7%